

令和4年度公共事業評価部会の審議結果について

令和5年3月17日
公共事業評価部会

- 1 対象事業名
農業競争力強化基盤整備事業（田尻中央地区）
農業競争力強化基盤整備事業（田尻中央2期地区）
農業競争力強化基盤整備事業（名緒地区）
水利施設等保全高度化事業（大崎西部3期地区）
一般国道113号福岡蔵本道路改良事業
都市基幹七北田川改修事業
- 2 事業の概要
別紙のとおり
- 3 県民生活及び社会経済に対する効果並びに把握方法
別添1のとおり「事業の進捗状況」、「事業を取り巻く社会経済情勢等の変化」、「代替案との比較」、「コスト縮減」、「費用対効果」の項目で事業効果を把握した。
- 4 評価の経過
令和4年 7月19日 行政活動の評価に関する条例第5条の書面（評価調書）の確定
令和4年 7月20日 宮城県行政評価委員会への諮問
令和4年 7月20日 条例第9条に基づく県民意見聴取
～8月19日
令和4年 9月 6日 同委員会公共事業評価部会（第1回開催）
令和4年10月24日 同委員会公共事業評価部会（第2回開催）
令和4年11月21日 同委員会公共事業評価部会（第3回開催）
令和5年 1月19日 同委員会及び同委員会公共事業評価部会からの答申
令和5年 2月 6日 県の最終評価（評価書）の確定
- 5 行政評価委員会の意見
対象6事業を「事業継続」とした県の評価に対し、すべて「妥当」とした。
なお、次のとおり事業の実施に関する意見を付した。

都市基幹七北田川改修事業

事業区間の延伸による事業費の増加に見合う効果について、県民が理解しやすい再評価調書の丁寧な記載に努めること。

事業の概要

番号	事業名	事業採択年度	完成予定年度	事業目的・事業概要	全体事業費(億円)	進捗率(%)	行政評価委員会(公共事業評価部会)の意見
1	農業競争力強化基盤整備事業 (田尻中央地区)	H15	R7	農業競争力のため、ほ場の大区画化・汎用化、用排水路や農道の整備を行い、担い手への農地の集積集約化や農業の高付加価値等に取り組むもの。 区画整理 257.5ha (全体 550.9ha) 暗渠排水 257.5ha (全体 548.8ha)	72.1	88.5	事業継続妥当
2	農業競争力強化基盤整備事業 (田尻中央2期地区)	H15	R7	農業競争力のため、ほ場の大区画化・汎用化、用排水路や農道の整備を行い、担い手への農地の集積集約化や農業の高付加価値等に取り組むもの。 区画整理 293.4ha (全体 550.9ha) 暗渠排水 291.3ha (全体 548.8ha)	72.1	88.5	事業継続妥当
3	農業競争力強化基盤整備事業 (名鱈地区)	H22	R5	農業競争力のため、ほ場の大区画化・汎用化、用排水路や農道の整備を行い、担い手への農地の集積集約化や農業の高付加価値等に取り組むもの。 区画整理 34.5ha 農業用排水施設 18,827m 暗渠排水 110.2ha	16.4	90.2	事業継続妥当
4	水利施設等保全高度化事業 (大崎西部3期地区)	H22	R7	用水の安定供給と用水管理の合理化を図り、農地の高度利用等を促進することにより、農業の構造改革に資することを目的とする。 頭首工2箇所 用水路工5.8km	23.3	79.4	事業継続妥当
5	一般国道113号福岡蔵本道路改良事業	H25	R5	重要物流道路(代替・補完路)や第2次緊急輸送道路に指定されている一般国道113号福岡蔵本工区において、車道幅員の狭小・線形不良箇所の解消や現道に隣接した脆弱な斜面の崩壊による通行止めを回避するため、道路改良を実施するもの。 延長 995m 車道幅員 6.0m (全体幅員 7.5m)	50.7	54.9	事業継続妥当
6	都市基幹七北田川改修事業	S24	R32	七北田川は仙台市北部の市街地を流下する県内最大の二級河川であり、過去の出水時に度々氾濫しているため、計画規模1/100(計画高水流量1,650m ³ /s)により河川改修を図り、流域の治水安全度向上を図るもの。 改修延長 31,670m	656.1	50.1	事業継続妥当 【今後の事業実施に関する意見】 事業区間の延伸による事業費の増加に見合う効果について、県民が理解しやすい再評価調書の丁寧な記載に努めること。